

第2回 全国特別支援学校フットサル大会

本大会は、特別支援学校の生徒がフットサルを通して、日々、鍛錬してきた成果を踏まえ、自校生徒間のチームワークを深めるとともに、他校生徒に敬意を持って接することにより、広く社会性を養い、就労への意欲を高めて、インクルーシブ社会の実現に向けた当事者としての成長に寄与することを目的に開催しますので取材に来ていただきますようお願いいたします。



日 時:令和5年 11月 4日(土) 09:30～

会 場:アクション福岡(福岡県立スポーツ科学情報センター) 福岡市博多区東平尾公園 2-1-4

主 催:一般財団法人日本ライオンズ (理事長 不老安正)

後 援:スポーツ庁、福岡県、福岡市、全国特別支援学校長会

内 容:全国の予選会(参加校111校)を経て、各地区(北海道、東北、東関東、西関東、北信越、東海、関西、中国、四国、九州)の代表校10校と特別枠(開催県及び沖縄地区《台風により試合が出来なかった為》)2校の合計12校(各校7名～8名)が出場。

全国大会の競技時間は、予選リーグ並びに4位～12位の順位決定リーグは、15分ランニングタイム制で行い、決勝リーグは前後半10分のランニングタイム制で行う。

一般財団法人日本ライオンズの大会基本コンセプト『自立とRESPECT』

○ 自立への願い

日本ライオンズは、特別支援学校では、多くの生徒が卒業後、実社会に出て就労することを踏まえて、生徒が自ら判断し、自立的行動が可能になるようにと願い、生徒の主体的判断を尊重する大会を目指します。

このため、通常の競技会では許されている監督・コーチのベンチでの指示・命令を禁止しています。監督・コーチは、選手交代時以外はベンチに座り、状況を見守り、生徒の自立的行動を正確に把握して、穏やかな態度で、生徒が主体的な判断・決定・実行する力を高めるよう、温かな思いやりのある行動を期待しています。

○ RESPECTへの願い

生徒は、卒業後、実社会に出た場合、RESPECT「他人への思いやり」があれば、大抵のことは円滑に進めることができます。この大会を通して、自校や他校の生徒同士、学校の先生、大会関係者、特にゲームでは審判へのRESPECTを示す大会を目指します。

このため、会場での行動を通して、自校の生徒同士、引率の先生、対戦相手校の生徒、審判、大会関係者などにはRESPECTを表す「こんにちは」や「お願いします」「ありがとうございます」などの具体的な礼儀や言葉遣いを期待しています。